

大学卒業程度試験 専門試験（農学（一般）B（職務経験者））例題

<作物>

農業分野の情勢や抱えている課題を踏まえ、水稻の高密度播種苗栽培について特徴および効果、そして栽培上の注意点について述べよ。（300字程度）

<園芸>

次の「野菜」、「果樹」、「花き」に関する問題のうち、いずれか一つを選択し解答せよ。

【野菜】

「みどりの食料システム戦略」では、化学農薬使用量（リスク換算値）の低減が目標の一つとされている。

野菜において、化学農薬使用量低減に必要な技術を挙げ、その技術について説明せよ。また、野菜の品目を取り上げ、実践されている技術の事例について述べよ。（300字程度）

【果樹】

秋田県の果樹産地では、新規就農者や新規参入者が他の作目と比較して非常に少なく、担い手不足が深刻な状況となっている。

新たに果樹の生産に取り組もうとする際の課題とその解決策について述べよ。（300字程度）

【花き】

出荷が夏秋期に集中する本県の花き生産において、旧盆や秋彼岸にあわせた「需要期出荷」は重要なポイントである。そこで、「主要な花き品目の需要期出荷に合わせるための栽培技術とその課題」について3つ挙げて述べよ。

（300字程度）

<担い手・経営>

高齢化等による担い手の減少に伴い、本県では集落型の農業法人が増加している。そこで、農業経営の法人化におけるメリットを3つ説明し、集落が法人設立に向けた話し合いを進める際、留意すべきこととその理由について述べよ。（300字程度）

<起業・流通>

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用されることによって様々な影響が生じる、いわゆる「物流の2024年問題」が迫っている。そこで、青果物の物流が抱える課題とその解決の方策を述べよ。

(300字程度)